

用語集(環境)

英語(ABC順)

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| ・ BOD | ・ FSC | ・ REACH規則 |
| ・ Brother Earth | ・ ISO 14001 | ・ RoHS指令 |
| ・ CDP | ・ ISO 14064 | ・ SDS |
| ・ chemSHERPA | ・ LCA | ・ SS |
| ・ COD | ・ LRQA | ・ SVHC |
| ・ e-ラーニング | ・ PCB処理特別措置法 | ・ WEEE指令 |
| ・ ErP指令 | ・ PRTR法 | ・ VOC |

日本語(五十音順)

- | | | |
|----------------|---------------------|----------------|
| ・ エコデklarレーション | ・ 循環型社会 | ・ タイプIIIラベル |
| ・ エミッション | ・ スコープ1、スコープ2、スコープ3 | ・ ノルマルヘキサン抽出物質 |
| ・ 環境会計 | ・ 生物多様性 | ・ ブラザーエコポイント活動 |
| ・ 環境情報システム | ・ 生物多様性条約締約国会議 | ・ ブラザーグリーンラベル |
| ・ 環境マネジメントシステム | COP10 | ・ 膜分離活性汚泥方式 |
| ・ グリーン調達 | ・ タイプIラベル | |
| ・ クリック募金 | ・ タイプIIラベル | |

英語(ABC順)

BOD(生物化学的酸素要求量)

BODは、Biochemical Oxygen Demandの略称。

有機物による水の汚濁の程度を示す指標。

水中の有機物質が好気性の微生物により酸化分解される過程で消費される酸素量(mg/l)のこと。

Brother Earth ※ブラザー用語

ブラザーグループの環境活動を象徴するロゴとスローガン。

「よりよい地球環境を、あなたとともに。」を統一メッセージとして、ブラザーグループの環境活動を全世界に発信している(2010年制定)。



CDP

CDPは、本部を英国ロンドンに置く国際的なNPO。

2003年から機関投資家と連携し、世界の主要な企業に対して、気候変動に関する事業リスク、事業機会、温室効果ガス排出量等に関する情報開示を求め、収集した情報を評価し、その結果を公表している。

chemSHERPA

Chemical information SHaring and Exchange under Reporting Partnership in supply chainの頭文字を組み合わせた造語。

日本の経済産業省主導で2015年より運用を開始した、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の情報伝達の仕組み。情報の伝達書式やルールの共通化・標準化を目的として国際標準に準拠している。

COD(化学的酸素要求量)

CODは、Chemical Oxygen Demandの略称。

有機物による水の汚濁の程度を示す指標。

水中の有機物が酸化剤(過マンガン酸カリウムまたは重クロム酸カリウム)により化学的に分解される過程で消費される酸素量(mg/l)のこと。

e-ラーニング

インターネット(もしくはイントラネット)を使った学習・教育、トレーニング。

ErP指令(エネルギー関連製品のエコデザイン要件を設定する枠組み指令)

ErPは、Energy-related Productsの略称。

地球温暖化防止策として、EUで販売されるエアコンや冷蔵庫などの「エネルギー関連製品」に対し環境配慮設計の枠組みを設けた指令(2005年発効、2009年改正)。

FSC(森林管理協議会)

FSCは、Forest Stewardship Councilの略称。

森林管理を推進することを目的として、木材を生産する森林と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証する国際機関。

ISO 14001

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)で定められた環境マネジメントシステムの国際規格(1996年発行)。

ISO 14064

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)で定められた、組織やプロジェクトにおけるGHG(温室効果ガス)排出削減量の算定・報告・検証に関する国際規格(2006年発行)。

LCA(ライフサイクルアセスメント)

LCAは、Life Cycle Assessmentの略称。

製品の原材料調達から、生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける投入資源や環境負荷、およびそれらによる地球や生態系への潜在的な環境影響を定量的に評価する手法。

LRQA

LRQAは、Lloyd's Register Quality Assurance Limitedの略称。

品質・環境・安全衛生などの分野で審査業務を行う認証機関。温室効果ガスに関する妥当性確認・検証を実施している。

PCB処理特別措置法（ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法）

PCBは、Polychlorinated Biphenyl（ポリ塩化ビフェニル）の略称。

PCB処理特別措置法は、日本における法律の一つ。PCB廃棄物の保管、処分等について必要な体制の整備と、確実かつ適正な処理の遂行を目的としている（2001年施行）。

PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)

PRTRは、Pollutant Release and Transfer Register(環境汚染物質排出・移動登録)の略称。

PRTR法は、日本における法律の一つ。環境への排出量などの把握に関する措置(PRTR)ならびに、化学物質の性状および取り扱いに関する情報(SDS)の提供に関する措置などを講ずることで、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的としている(1999年施行)。

REACH規則(化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則)

REACHは、Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicalsの略称。

人の健康や環境保護のためにつくられた欧州における化学物質の総合的な登録・評価・認可・制限に関する規則(2007年施行)。

RoHS指令(電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令)

RoHSは、Restriction of Hazardous Substancesの略称。

電気・電子機器に含まれる有害物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル(PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE))の使用を原則禁止としたEU指令(2006年施行)。

SDS(安全データシート)

SDSは、Safety Data Sheetの略称。

事業者による化学物質の適切な管理の改善を促進するため、指定された化学物質やそれを含む製品を、他の事業者に譲渡または提供する際に、その化学物質の特性および取り扱いに関する情報を提供するための資料。

ブラザーグループでは、30言語で情報を提供している。

SS(浮遊物質)

SSは、Suspended Solidsの略称。

水中に懸濁している不溶解性物質のことで、JIS(日本工業規格)では懸濁物質、環境基準や排水基準では浮遊物質といひ、2mmのふるいを通過し、1μmのろ過材上に残留する物質。

SVHC(高懸念物質)

SVHCは、Substances of Very High Concernの略称。

人の健康・環境に重大な影響を与える可能性がある高懸念物質。

WEEE指令(廃電気電子機器回収指令)

WEEEは、Waste Electrical and Electronic Equipmentの略称。

電気・電子機器の廃棄物を対象に、設計・分別回収・リサイクルの各段階で、加盟国・販売事業者・生産者などに義務を課しているEU指令(2003年施行)。

VOC(揮発性有機化合物)

Volatile Organic Compoundsの略称。

常温常圧で大気中に容易に揮発する有機化学物質の総称。代表的な物質はトルエン、キシレン、酢酸エチルなど。

大気中の光化学反応により、光化学スモッグを引き起こす原因の一つとされている。

日本語(五十音順)

Eコデクラレーション(ECMA370)

ヨーロッパにおけるファクスや複合機などを含む家電製品の環境特性を公開するための統一されたフォーマットおよびシステム。

複数の製品を比較する際に役立つ。

Eミッション

主に大気中への排出または放出あるいは、放出されるもの。

環境会計

企業などが、持続可能な発展を目指して、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位または物量単位)に測定し、伝達する仕組みのこと。

環境情報システム ※ブラザー用語

ブラザーグループでは、お取引先(サプライヤー)各社と連携してブラザー独自の環境情報システムを構築し、製品に含まれる化学物質の調査・回避・管理に活用。この環境情報システムは、各国法規制に迅速に対応することを目的に改良を進めている。

環境マネジメントシステム

組織が、自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための体制・手続き等の仕組み。

グリーン調達

商品・サービスを購入する際に、その必要性を十分に考慮し、購入が必要な場合には、価格や品質だけではなく、できる限り環境への負荷が少ないものを優先的に購入することをグリーン購入といい、このような考え方に基づく商品・サービスの調達をグリーン調達という。

クリック募金 ※ブラザー用語

クリック募金は、ブラザーがステークホルダーとともに行う環境保全の取り組み。

支援したい活動を選んで募金ボタンをクリックすると、1クリックあたり1円をクリックしていただいた方に代わってブラザーが寄付。

あなたの1クリックが、森林再生や砂漠化防止などにつながる。

循環型社会

天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のこと。

以下の徹底によって、実現される。

第一段階：製品などが廃棄物になることを抑制する

第二段階：排出された廃棄物は、できる限り資源として利用する

第三段階：どうしても利用できない廃棄物は、適正に処分する

スコープ1、スコープ2、スコープ3

スコープは、温室効果ガスのサプライチェーン排出量における構成要素。

三つに分類する事で、重複する算定を最小化し、対象ガスの特定を可能にしている。

スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ2：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

スコープ3：スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他者の排出)

生物多様性

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。

1992年、リオ・デ・ジャネイロで締結された生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしている。

生物多様性条約締約国会議COP10

愛知県名古屋市で開催された生物多様性に関する条約の第10回締約国会議。

COP10では「生物多様性条約戦略計画2011－2020(通称、愛知目標)」が、生物多様性の喪失を抑止するための実効性のある緊急目標として採択された。

タイプIラベル

第三者が一定の基準に基づいて環境保全に資する製品を認定する環境ラベル。

日本ではエコマーク、ドイツではブルーエンジェルマークが知られている。

タイプIIラベル

事業者が自らの製品の環境情報を自己主張する環境ラベル。

ブラザー工業では「ブラザーグリーンラベル」制度を制定し運用。

タイプIIIラベル

ライフサイクルアセスメント(LCA)を基礎に製品の環境情報を定量的に表示する環境ラベル。

日本では、エコリーフプログラムとして社団法人産業環境管理協会が管理・運営。

ノルマルヘキサン抽出物質

ノルマルヘキサン(溶剤などに広く使用されている揮発性の液体)により、抽出される不揮発性物質の総称。

鉱油類や動植物油脂類といった水中の油分量(mg/L)などを表わす指標として用いられる。

ブラザーエコポイント活動 ※ブラザー用語

従業員の環境意識を向上させることが地球温暖化防止にもつながるという考えのもと、従業員やその家族による環境配慮行動や、お客様からの使用済み消耗品の回収などにポイントを付与し、たまったポイントに応じてブラザーがさまざまな環境貢献活動を実施するというもの。

ブラザーグリーンラベル ※ブラザー用語

ブラザー独自の環境ラベル「ブラザーグリーンラベル」制度。

ブラザー工業株式会社では、製品における環境配慮について、自主基準(ブラザーグリーンラベル基準)を満たす製品にラベルを付与している(2001年10月より運用、2007年2月改訂)。

膜分離活性汚泥方式

下水や工場排水の浄化を行う「活性汚泥法」の一種。処理された水と活性汚泥との分離を、ろ過膜を使って行う。